

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【公開番号】特開2018-151074(P2018-151074A)

【公開日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-037

【出願番号】特願2018-98398(P2018-98398)

【国際特許分類】

F 1 6 B 45/02 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 45/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月19日(2018.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 のフックを有するカラビナ本体であって、前記第 1 のフックが第 1 の開口部を有する、カラビナ本体と、

前記第 1 の開口部を閉じるように前記カラビナ本体と相互接続された、第 1 のゲートと

、
前記第 1 のゲート上を上下に摺動するように構成された第 1 の摺動体であって、前記第 1 のゲートをロックする第 1 の位置と、前記第 1 のゲートをロック解除する第 2 の位置とを前記カラビナ本体に対して有する、第 1 の摺動体とを含む、ロック式カラビナであって

、
前記第 1 のゲートが、針金枠ゲートであり、前記針金枠ゲートが、第 1 の摺動体を含み、前記第 1 の摺動体がタブを含み、前記タブが、前記第 1 のゲートが前記針金枠ゲートの端部から外れることを防止するために、前記針金枠の内側にはまるようにサイズ設定される、ロック式カラビナ。

【請求項 2】

第 1 のフックを有するカラビナ本体であって、前記第 1 のフックが第 1 の開口部を有する、カラビナ本体と、

前記第 1 の開口部を閉じるように前記カラビナ本体と相互接続された、第 1 のゲートと

、
前記第 1 のゲート上を上下に摺動するように構成された第 1 の摺動体であって、前記第 1 のゲートをロックする第 1 の位置と、前記第 1 のゲートをロック解除する第 2 の位置とを前記カラビナ本体に対して有する、第 1 の摺動体とを含む、ロック式カラビナであって

、
前記カラビナ本体が、前記第 1 のゲートが前記カラビナ本体と相互接続されている箇所に近接して第 1 の切欠き部を有し、前記第 1 の切欠き部が、前記第 1 の摺動体が前記第 1 の位置にあるときに前記第 1 の摺動体を受け入れるようにサイズ設定され、

前記第 1 の摺動体が、前記第 1 の切欠き部を押すことにより前記第 1 のゲートが開位置に回転することを防止し、

前記カラビナ本体が、第 2 の開口部を有する第 2 のフックを含み、

前記第 1 の開口部を閉じるように前記カラビナ本体と相互接続された第 2 のゲートと、

前記第２のゲート上を上下に摺動するように構成された第２の摺動体であって、前記第２のゲートをロックする第３の位置と、前記第２のゲートをロック解除する第４の位置とを前記カラビナ本体に対して有する、第２の摺動体とをさらに備え、

前記第１および第２のフックが、前記カラビナ本体においてＳ字形状を形成し、

前記第１および第２のゲートが、針金棒ゲートであり、前記針金棒ゲートが、第１および第２の摺動体を含み、各前記摺動体がタブを含み、前記タブが、前記第１および第２のゲートが前記針金棒ゲートの端部から外れることを防止するために、前記針金棒の内側にはまるようにサイズ設定される、ロック式カラビナ。

【請求項３】

前記第１および第２の摺動体が、前記針金棒ゲートの周囲にほぼ楕円の形状を有する、請求項２に記載のロック式カラビナ。

【請求項４】

前記第１および第２の摺動体が、それぞれ、前記第１および第２の摺動体の取り外しを可能とするように構成された切欠き部を有する、請求項３に記載のロック式カラビナ。

【請求項５】

前記第１および第２の摺動体が、それぞれ、各端部に第１および第２の開口部を有し、前記第１および第２の摺動体が、前記第２の開口部における狭窄により前記第１および第２の摺動体がそれぞれ前記第１および第２のカラビナゲートから外れることが防止されるように、前記第１の開口部と前記第２開口部から徐々に狭まっている、請求項３に記載のロック式カラビナ。

【請求項６】

ロック式ダブルカラビナを使用する方法であって、

第１および第２のゲートの各ゲート上に摺動体を有するロック式ダブルカラビナを用意するステップと、

前記第１のゲート上の前記摺動体を、第１のロック位置から第２のロック解除位置へ摺動させるステップと、

前記第１のゲートを開くステップと、

前記第１のゲートを閉じるステップと、

前記第１のゲート上の前記第１の摺動体を、前記第２のロック解除位置から、前記第１のゲートがロックされる前記第１のロック位置へ摺動させるステップとを含み、

前記第１のロック位置が、前記第１のゲートの前記摺動体を、前記ダブル・ロック式カラビナの本体にある切欠き部内に位置決めし、前記摺動体は、前記摺動体が前記切欠き部内にあるときに、前記第１のゲートが開くことを防止し、

前記切欠き部が、前記第１のゲートと前記ダブルカラビナの前記本体との相互接続点の近傍に配置され、

前記本体が、第１および第２のフックを含み、前記第１および第２のフックが、前記カラビナ本体においてＳ字形状を形成し、

前記第１および第２のゲートが、針金棒ゲートであり、前記針金棒ゲートが、第１および第２の摺動体を含み、各前記摺動体がタブを含み、前記タブが、前記第１および第２のゲートが前記針金棒ゲートの端部から外れることを防止するために、前記針金棒の内側にはまるようにサイズ設定される、方法。